

グローバルな知的資産経営戦略実践のための人材育成

—戦略タスクフォースリーダー養成構想とプログラムのグローバル展開を見据えて—

開催報告速報(2014. 12. 22)



12月19日に知的資産経営研究講座の公開イベントとしては最終のシンポジウムを開催いたしました。NEDOの東條様のご挨拶に続き、本事業の3年間の成果をまとめ、成果の普及展開のための人材育成プログラム「戦略タスクフォースリーダー養成プログラム」の提案をさせていただきました。内容はこちらにございます。

http://pari.u-tokyo.ac.jp/unit/iam/events/pdf/smp141219_tfr.pdf



その後、このプログラムの評価と改善を議論するため、人材育成のWhat（どんな人材が必要か）と How（どのように育成するのか）の2つのトピックについて2つのパネル討論で議論をいたしました。

第一のパネル討論「グローバル企業が求めるイノベーション・知財戦略人材像」では、アップルやノキアの欧米企業の事例とキヤノン、NECの事例を交えてイノベーション人材や知財の位置づけ、プログラムの評価方法とOJTとの関係などについての議論を行いました。



また第二部パネル討論「知的資産経営戦略人材の育成方法」ではハーバード大学や、スタンフォード大学の事例、中国や国際機関であるWIPOの活動などを踏まえて、新興国との連携に関する人材育成プログラムやMOOCのマネジメント教育への利用などについて幅広い意見交換を行いました。前者ではベトナム知的財産活用研究所との具体的連携の提案などもありました。



今回はNEDOプログラムの最終イベントということで、アウトプットとしての成果展開の戦略タスクフォースリーダー養成プログラムのご提案をさせていただき、シンポジウムの議論のテーマも人材育成を取り上げさせていただきました。おかげさまで参加者もほぼ満席で最後のイベントを盛況のうちに終わることができました。

成果展開の「戦略タスクフォースリーダー養成プログラム」については、来年早々に募集を開始する予定です。このプログラムについての事前のお問い合わせは下記のメールまでお願いいたします。 office@wlab.rcast.u-tokyo.ac.jp